

磐城毎日

長所 大和田兵衛町
 社行 大和島縣平市南町
 社行 磐城毎日新聞社
 社行 印刷部
 社行 電話部
 社行 電話部
 電話 (平) 一 二 一 〇 番

夏井川溪谷え紅葉狩り 本社後援秋の行樂案たつ

本市二十八區青年會主催、の縣下ボーイスカウト指導
 本社後援で来る十二日(日)者公認講習會は三日から五
 日、夏井川溪谷の紅葉狩り日の間田村郡瀧根町公民館
 を行ふ事となつた。二十八に於て行われ、講師はボ
 ーイスクウト日本連盟理事三月末日迄冬季割増とし
 区内の居住者は老若男女ボーイスクウト日本連盟理事
 間は、参加自由で老若男女は大三島通陽氏、同縣理事
 人百圓、小人(小学生)三十階堂誠一氏外三名で多数受
 圓、辨當は各自持参、参加講を觀迎してゐる
 者は當日午前八時までに平
 病院前大通りに集合し往歸
 は川前まで汽車を利用し歸
 歸は川前まで貸切りバスで
 歸る、青年會では種々の余
 興も計畫中で多数の参加を
 希望してゐる

學童の模範通行 勿來町で昨日行ふ

勿來町署では一日から實施
 の交通通關中に同町中、小
 小學校生徒の協力を得て町
 内四ヶ所所約八十名の生徒
 が隊列を組み對面交通の模
 範歩行を行い一般に指導す
 るの役をつとめた

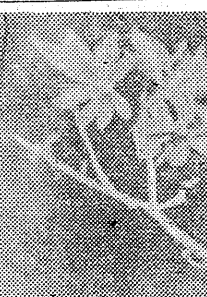
永年勤續者表彰式 あす文化の日記念して

三日の文化の日を記念して
 平商工會議所では第三回永
 年勤續優良従業員表彰式を
 同日午前十時より市内六間
 門湯殿山神社事務所にて
 來賓多数出席の元に行つた
 表彰者は、工業従業者の同
 一職場に廿年以上の永年勤
 續で優良なる一般の模範た
 るべき従業員を郡下より四
 十五名選出して表彰される
 表彰者氏名は次の通り
 (括弧内は勤続年數)
 磐城通運株式會社集金員
 會 我 清 吉(26年)
 荷扱手
 橋 内 勘 三(23年)
 鈴木 留 男(23年)
 班 長
 三 宅 演 吉(23年)
 支店長代理
 坂 本 喜(23年)
 品川白煉瓦株式會社湯本工
 場 庶務課長
 矢野 丑 男(26年)
 組長

「へちまの皮」(三) 天邪鬼生
 老人 昔友達か聞いた詩にこん
 な詩がある。誰の作だつた
 かはもう忘れた。
 桶を渡つて
 料理を食べて
 さて老いたる友よ
 昔話しよう
 どんなに私が釣好きで

木炭部新設
 配達迅速
水野氷室
 平市大町 電話二九九番

夏井川第二發電所班長
 佐藤 保三(30)
 平營業所金係長
 栗田 保三(30)
 さがの話題を呼んで来た



電燈料値上げ
 東北配電株式會社平營業所
 夏井川第一發電所班長
 大 越 成 章(36年)
 四倉電業所班長
 平 間 龜 一(33年)
 平田電業所班長
 金 成 六 郎(32年)
 平給電所長
 佐藤 末五郎(32年)
 小名濱電業所班長
 馬 上 賢 三(32年)
 大和第一發電所主任
 大和田 四郎(31年)
 夏井川第二發電所主任
 吉 田 庄 平(31年)
 永戸散所主任
 大 平 孝 太郎(30年)
 四十名などである

働く少年の生活
 改善座談會
 丹治女史を圍み
 一日消えやうらぬうちに今度には
 からつが咲き出し市民の目を
 全國うばつてゐる、平市北白土
 に行字木下野邊橋次郎(飯野
 われ農協組長)さん宅裏庭の
 年つた今まに満開寸前と開
 少勞言うとこう(寫眞は狂ひ咲
 働者のさつき)

山積の事件處理に 佐久間検事一行來援

炭礦地帯として縣下は勿論つた
 全国的にも犯罪事件が多く地
 裁支部では微罪事件の處理
 に當つては次ぎつぎと
 起る未處理事件は現在一千
 三百余件に達して居る之れ生
 等の事件を迅速に解決する
 爲福島地檢佐久間検事官等
 川副検事、齋藤事務官等二
 日來市十日間に亘つて事件
 處理を後援を行うことにな
 り

秋草に圍まれて 共立病院開院祝賀會盛大

磐城共立病院開院式は一日(理)、東北大學醫學部部長
 午前十一時より同病院前庭(代理)、木村參議院議員
 に於て大和田副知事、木連沼縣會議長(代理)、鈴木
 村參議院議員、鈴木平市長、箱崎地方事務所長、
 東北大學醫學部部長代理、箱内水石城醫師會會長、炭勞組
 郡内各町村長、會議議長其、昌山共立病院院長の挨拶
 他多数参列し舉行された、大河原町村會議議長會長閉
 定期鈴木村會長の挨拶、會の辭を述べ引續き祝賀に
 經過報告、大竹縣知事(代理)午後一時盛會裡に終了
 二日晩は北よりの風、三日は朝よりの風、四日
 三日は朝よりの風、四日
 は一時南よりの風となり、
 は朝の内北よりの風、四
 は朝の内北よりの風、四
 は朝の内北よりの風、四

「へちまの皮」(三) 天邪鬼生
 さて老いたる友よ
 昔話をしよう
 こんな意味の詩であつた。
 淡々とした老人の平和な餘
 世がさやかなる樂しみの中
 に描かれてゐる。此處には
 日本の老人の老後のように
 姉と妹の陰氣な闘争もな
 無くなつたし
 若い息子や娘達のように
 手紙も書けはしないから
 橋を渡つて料理を食べて
 どんなに私が釣好きで

千草學院見學
 旅行
 千草學院生徒三十名は
 一日夜東京都目黒区(メ
 杉野芳子先生)主催のフ
 ヴィンソン、シヨウ見學のた
 上京した

三社社會學級
 開く
 平第三中學では二日午後一
 時から同校裁縫室で社會學
 級の開校式を行ひ平自治署
 本婦警が年少者の輔導に
 につけて講演の後水の働き
 新開についで等の映寫會
 開いた。なお同映寫會は毎
 月一回父兄一般を參集して
 開催する

ラクビー選手 今朝出發

店開き早々患 者殺到

平市戦災復興事務所では三
 日の文化の日小名濱町小瀧
 ホテルにて紅葉狩りを行
 別項の如く一日華々しく開
 業式を舉げた磐城共立病
 院は開院式終了後直ちに診
 療を開始した、當日初患者
 とし内科に約十名の患者
 があつたので幸先良しとして
 關係者を喜ばした

高職屋根から 落ちて即死

双葉郡龍田村上繁岡字小太
 郎一三高職須藤力三さん
 は二日午前九時半頃市内鐘
 田町常磐交通車庫の屋根修
 理作業中足をすべらして墜
 落、四間半下のコンクリ
 下に前額部を強打即死

「へちまの皮」(三) 天邪鬼生
 戸主や家長の制度は無くないる例は至る處にある、おの、子供は經濟的に自立す
 った。家庭の基本は夫婦で、達の若い頃は「...」と昔の迄は親の所有物ではな
 ない。随つて息子夫婦とは姑にいちめられた話をもち、以後は親の所有物ではな
 別居をする事が自然であり出して亦それを嫌に押しつけ、經濟的に別居するは結
 子夫婦とお互に相手の人格は受けよとする。今の若い娘は結婚して息子の生活様式と考
 を尊重して行けば嫁と姑の其處で姑はますます陰氣に方がすべからず日本人に行き
 ない、経済的に別居が可能で、息子の親の親の親の親の親の親の親の親の親の親の親の親
 と息子夫婦が一軒の家に住んで手を手を離れるのが當然である、大其の時こそ老人にも
 の無用の摩擦を繰り返して家庭とは夫婦単位で營む

移轉御知らせ
 白銀町(縣前通り鐵道官舎向)
和田醫院
 呼吸器科 和田浩美
 電話二一八七番
 舊住所 才植小路たつき保育園脇

秋の撮影指導會
 場所 川前下江田
 期 間 十一月五日(日)江田集合
 會 費 二百圓(スクラフィルム一本付)
 モデル 小西六(ミススクラ三名參加)
 ◆市内各寫材店へ申込みたい
 主催 平 寫 材 組 合
 小西六寫眞工業株式會社
 ファイルに制限あり至急申込みたい

紙袋 各種卸します
佐々木商店
 平市銀治町電呼一五〇三番

皆様の魚店
丸市屋
 平市四丁目
 電話二二三番

呼吸器科
 胃腸科
 小兒科
後藤醫院
 平市古銀治町(縣社下)
 電話一〇三六番

熱心なる經營者を求む!!
百貨店々舗豫約募集
 湯本町商業街中心絶好の場所
 二階七間階下八間(炊事場風呂便所付)
 二階は住居として提供
 湯本町(三画)愛生堂藥局側
久保木卓也

文化の跡を顧みて

小野支局長記

意義ある文化の日を迎え小名濱町今日の隆盛を見、た各種産業や文化の面に於て書くことも無駄なことではないので記念特輯を發行するにあたり稿をつくる

書道の界

小名濱町の文化を代表する書道界を眺むる時大先輩として、小名濱町信用組合専務理事尾山君を筆頭として推挙せねばならない

貨物自動車

小名濱町に新らしい商賣に必らず手を染めねば承知出来ない事業意欲の旺盛な行平支店長として高野美太郎君が先着目し

詩歌俳句壇

歌人、俳人としては、會田亮、石井芳江の兩氏を挙げねばならない

自轉車店

本町では自轉車店の開店は、僅かに西野屋である、僅か六日後にレックセン甚八君が創業して居る

小名濱文化

ハイヤー自動車の元祖は交通機關の總元祖の小名濱である、港鐵株式會社の前身である

運輸手

自動車は僅かに一、二台の時代運輸手はザラになく警視廳免許が高く買われ

印刷業

本町で印刷業の草分けは錦港社の鴨連吾君だ今の錦港社の前富川屋と云う菓

日刊新聞

日刊新聞として發行したのは馬目喜右門長、馬目君は軌道に永く車掌として勤

娛樂機關の

本町で娛樂機關として、大いに関係を有するは、大正七年五月に野代政造君が免許を所持した、續

旅館

今でこそ十数軒ある本町の旅館としての元祖は何と云うても福田屋、開業既

浴場

浴師屋と言えは浴師といふ進歩の跡も著しき浴場を築いて居る小型浴場を幾

仁術を以て立つ醫師

小名濱町の更生事業として醫術の施行者開業醫の元祖は故樋口元町長

金融業の銀行

金融業として本町に開業した元祖は警視銀行出張所は大正初年

文化の日記念號

修戦後の理想は總ての組織に於て、著しき變革を

柔道界で

何んと言つても草分は警中當時からの猛將に於て小島昌秀氏が元老

庭球界にも大特長を示す

庭球運動方面に於ては、宮島地籍院住職の熱心で、テニスコートを完成し、

後遺選子が跡を断たない

見よ中學校生に益々のびて居る小選手女子部に切瀨

柔道界で

何んと言つても草分は警中當時からの猛將に於て小島昌秀氏が元老

庭球界にも大特長を示す

庭球運動方面に於ては、宮島地籍院住職の熱心で、テニスコートを完成し、

結論

小名濱町スポーツ界を眺むれば以上に述べた様に各種部門に對して、何れも一騎當千の猛者のみである為め

スポーツ界

陸上に於ける往年の選手野手、小松松次郎、更に日冷社長の八島正太郎君

浴場

浴師屋と言えは浴師といふ進歩の跡も著しき浴場を築いて居る小型浴場を幾

仁術を以て立つ醫師

小名濱町の更生事業として醫術の施行者開業醫の元祖は故樋口元町長

金融業の銀行

金融業として本町に開業した元祖は警視銀行出張所は大正初年

文化の日記念號

修戦後の理想は總ての組織に於て、著しき變革を

柔道界で

何んと言つても草分は警中當時からの猛將に於て小島昌秀氏が元老

庭球界にも大特長を示す

庭球運動方面に於ては、宮島地籍院住職の熱心で、テニスコートを完成し、

結論

小名濱町スポーツ界を眺むれば以上に述べた様に各種部門に對して、何れも一騎當千の猛者のみである為め

スポーツ界

陸上に於ける往年の選手野手、小松松次郎、更に日冷社長の八島正太郎君

浴場

浴師屋と言えは浴師といふ進歩の跡も著しき浴場を築いて居る小型浴場を幾

仁術を以て立つ醫師

小名濱町の更生事業として醫術の施行者開業醫の元祖は故樋口元町長

金融業の銀行

金融業として本町に開業した元祖は警視銀行出張所は大正初年

文化の日記念號

修戦後の理想は總ての組織に於て、著しき變革を

柔道界で

何んと言つても草分は警中當時からの猛將に於て小島昌秀氏が元老

庭球界にも大特長を示す

庭球運動方面に於ては、宮島地籍院住職の熱心で、テニスコートを完成し、

結論

小名濱町スポーツ界を眺むれば以上に述べた様に各種部門に對して、何れも一騎當千の猛者のみである為め

スポーツ界

陸上に於ける往年の選手野手、小松松次郎、更に日冷社長の八島正太郎君

浴場

浴師屋と言えは浴師といふ進歩の跡も著しき浴場を築いて居る小型浴場を幾

仁術を以て立つ醫師

小名濱町の更生事業として醫術の施行者開業醫の元祖は故樋口元町長

金融業の銀行

金融業として本町に開業した元祖は警視銀行出張所は大正初年

文化の日記念號

修戦後の理想は總ての組織に於て、著しき變革を

柔道界で

何んと言つても草分は警中當時からの猛將に於て小島昌秀氏が元老

庭球界にも大特長を示す

庭球運動方面に於ては、宮島地籍院住職の熱心で、テニスコートを完成し、

結論

小名濱町スポーツ界を眺むれば以上に述べた様に各種部門に對して、何れも一騎當千の猛者のみである為め

スポーツ界

陸上に於ける往年の選手野手、小松松次郎、更に日冷社長の八島正太郎君

浴場

浴師屋と言えは浴師といふ進歩の跡も著しき浴場を築いて居る小型浴場を幾

仁術を以て立つ醫師

小名濱町の更生事業として醫術の施行者開業醫の元祖は故樋口元町長

金融業の銀行

金融業として本町に開業した元祖は警視銀行出張所は大正初年

文化の日記念號

修戦後の理想は總ての組織に於て、著しき變革を

柔道界で

何んと言つても草分は警中當時からの猛將に於て小島昌秀氏が元老

庭球界にも大特長を示す

庭球運動方面に於ては、宮島地籍院住職の熱心で、テニスコートを完成し、

結論

小名濱町スポーツ界を眺むれば以上に述べた様に各種部門に對して、何れも一騎當千の猛者のみである為め

文化の日記念特集號

[小名濱版]

町長 水野政次郎
助役 長瀬國三郎
収入役 野崎昇太郎
議員 菅原勳
副議長 長瀬彰義
總務委員長 村上重一
教育委員長 小野直千賀
經濟委員長 高木忠治
厚生委員長 小野作太郎
社會教育委員會 會長 草野道平
副會長 石井正
小名濱消防團長 御代龜太郎
小名濱船舶底曳網組合 會長 田島繁夫
小名濱漁業協同組合 組合長 三代義勝
小名濱町信用組合 組合長 志賀要平
小名濱區長會 會長 小野作太郎
小名濱文化協會 會長 坪内清

計課課長 小泉安雄
庶務課長 遠藤定雄
學務課長 齊藤昇一
衛生課長 鈴木菊彌
財務課長 佐藤軍次
土木課長 馬場上達
經濟課長 丹野作馬
水道課長 中里芳雄

小名濱海上保安部 部長 遠藤武夫
警備救難課長 飯坂寅成
海事検査課長 岩田薫
うす丸船長 藤崎道好

小名濱町警察署 署長警視 鈴木龍之助
警部補 小柳政吉
警部補 渡部富男

小名濱印刷所 社長 青島茂一

定置漁業觀音丸 町會議員 齊藤誠吾

小名濱臨港鐵道株式會社 社長 竹川久仁
專務取締役 浦田文二郎

小名濱町PTA連合會長 富ヶ浦病院長 安田善一
電二四一番

小名濱印刷所 社長 青島茂一

定置漁業觀音丸 町會議員 齊藤誠吾

小名濱臨港鐵道株式會社 社長 竹川久仁
專務取締役 浦田文二郎

小名濱町PTA連合會長 富ヶ浦病院長 安田善一
電二四一番

小名濱印刷所 社長 青島茂一

定置漁業觀音丸 町會議員 齊藤誠吾

小名濱臨港鐵道株式會社 社長 竹川久仁
專務取締役 浦田文二郎

小名濱町PTA連合會長 富ヶ浦病院長 安田善一
電二四一番

小名濱印刷所 社長 青島茂一

定置漁業觀音丸 町會議員 齊藤誠吾

小名濱臨港鐵道株式會社 社長 竹川久仁
專務取締役 浦田文二郎

小名濱町PTA連合會長 富ヶ浦病院長 安田善一
電二四一番